



いちかわみさと

議会だより

第31号

2013年5月1日 発行



●おらがまつり・未来へつなぐ(市川中央通り)

平成25年 3月定例会

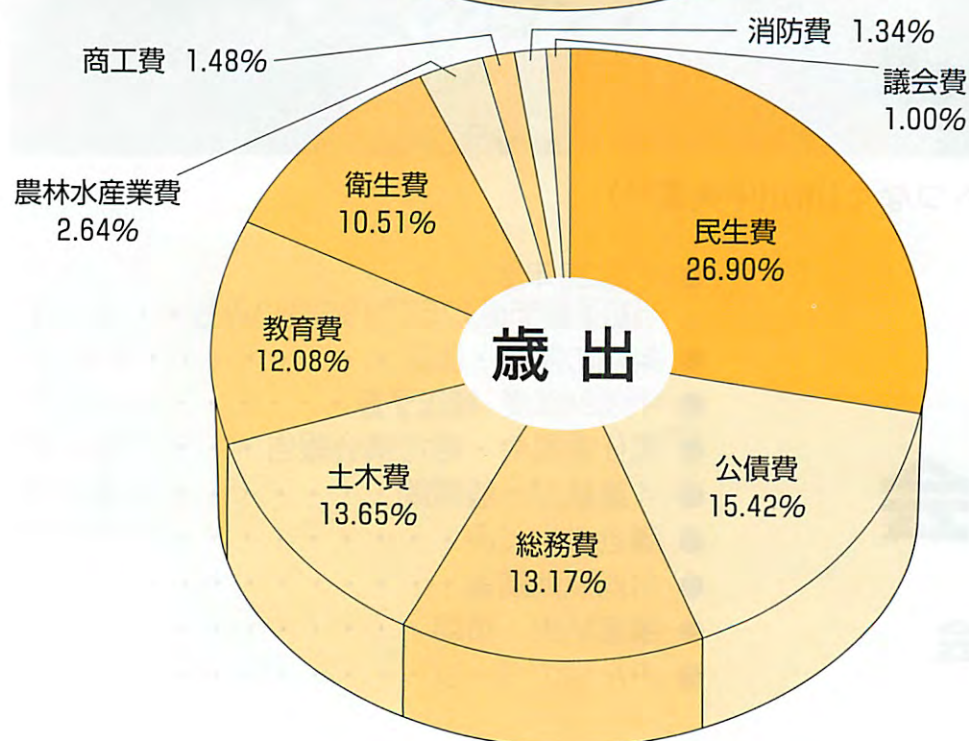
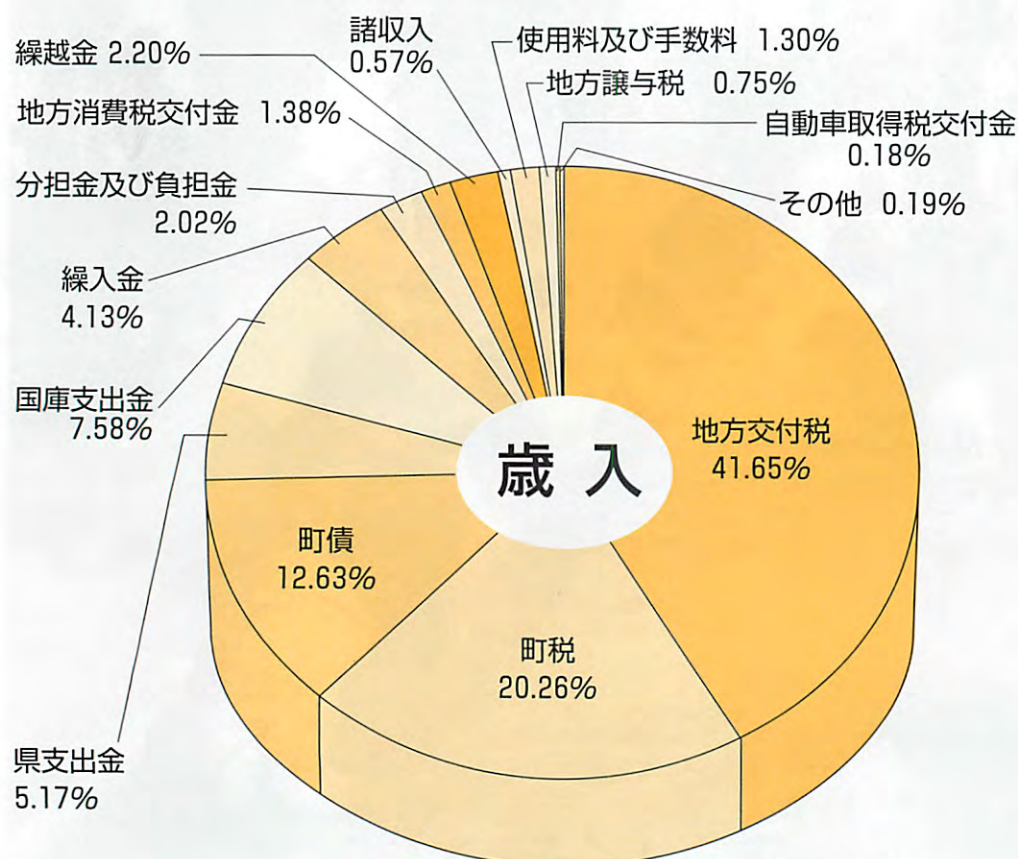
第1回臨時会

- 平成25年度
当初予算85億1,757万円の使いみち・・・2～3
- 条例の制定・改正・・・4
- 平成24年度 補正予算・・・5
- 常任委員会・組合議会報告・・・6～7
- 4議員が一般質問・・・8～11
- 議会のしくみ・・・12～13
- 合同現地調査・・・14
- 審議結果・請願・・・15
- みんなのページ・・・16

を可決

前年比 **4.66%増**
拡大予算

●一般会計予算のなかみ

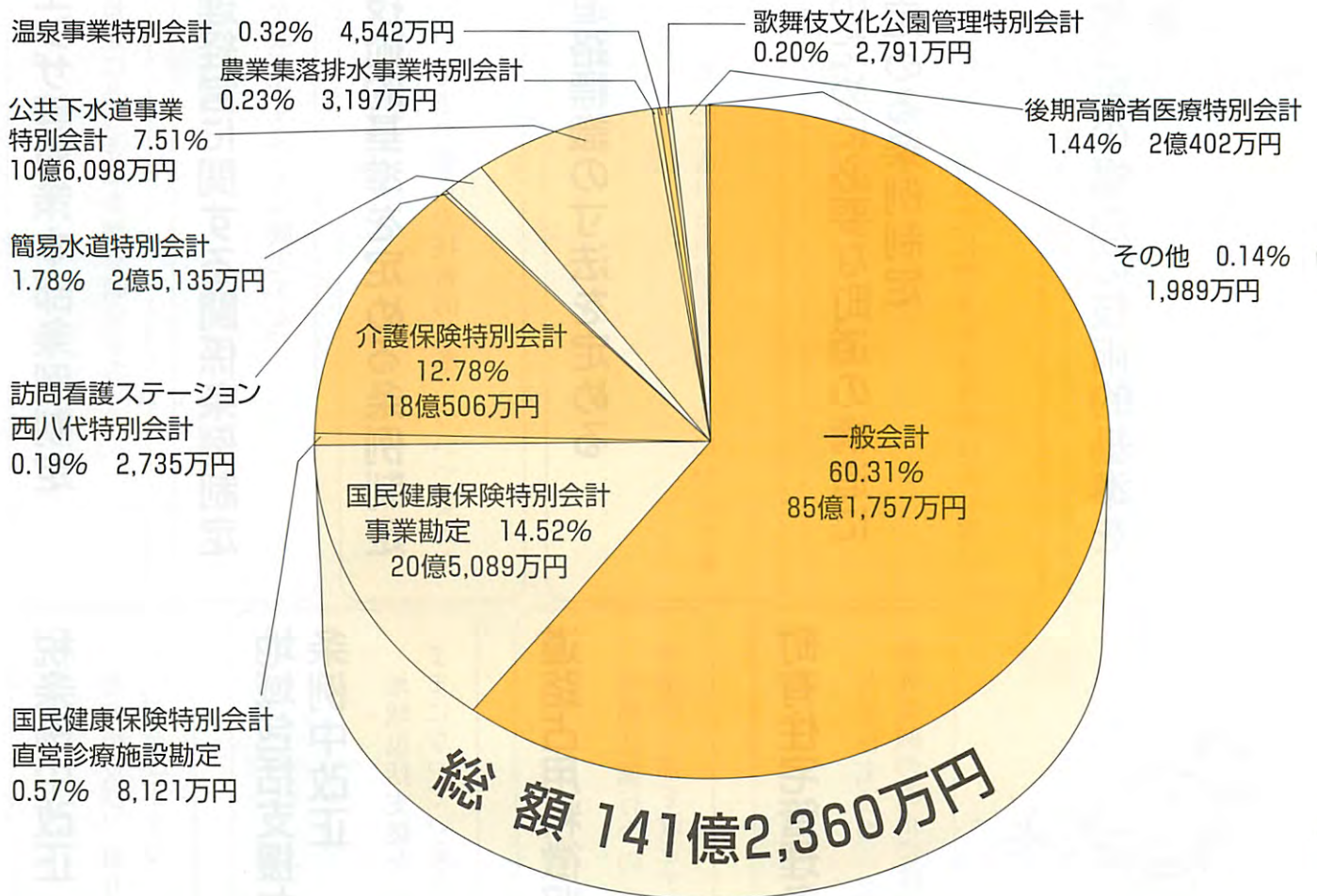


平成25年第1回定例会は、3月6日から18日までの13日間にわたり開催されました。
今定例会では、平成24年度一般会計、特別会計補正予算をはじめ、条例の制定・改正、平成25年度当初予算など43議案・その他4件が提出され、請願1件は不採択となり、他は原案どおり可決、決定、同意されました。

平成25年度一般会計当初予算

85億1,757万円

●一般会計予算・特別会計(56億603万円) 予算の状況



主な新規事業

予算額(万円未満は四捨五入)

議会基本条例制定事業	21万円
市川大門駅員設置事業	564万円
防災士資格取得費補助事業	18万円
参議院議員選挙費	1,376万円
町長選挙費	1,240万円
町議会議員補欠選挙費	310万円
峡南北部2病院統合事務組合負担金	775万円
印章購入費助成事業	50万円
鳴沢川高田地区内水対策事業	4,100万円
市川南小中学校グラウンド整備事業	2,340万円
大塚小学校グラウンド整備事業	4,452万円

主な継続事業

予算額(万円未満は四捨五入)

郡農協前交差点歩行者安全対策事業	1,212万円
ドクターヘリ地域緊急搬送拠点整備事業	4,022万円
町道岩間久那土線改良事業	1,519万円
町道(仮称)平塩5号線新設改良事業	2,100万円
町道宮原一本松線新設改良事業	5,160万円
町道矢作上野線改良事業	1億2,350万円
市川地区中央部まちづくり事業	8,384万円
大同地区公民館建設事業	1億4,203万円

廃止された事業

予算額(万円未満は四捨五入)

地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金(基金)事業	680万円
子ども手当支給事業	2億4,178万円

条例の制定 6件・改正 4件

新型インフルエンザ等対策本部条例制定

対策特別措置法の規定に基づき本条例を制定する。

国有林野の管理経営に関する関係条例制定

関係条例中の一部を改正するために制定する。

町道の構造の技術的基準を定める条例制定

道路法の改正に伴い、町道の構造の技術的基準について条例を制定する。

町道に設ける道路標識の寸法を定める条例制定

道路法の改正に伴い、町道に設ける道路標識の寸法について条例を制定する。

移動等円滑化のために必要な町道の構造に関する基準を定める条例制定

高齢者、障害者等の移動等の円滑化に関する法律の改正に伴い必要事項を定める条例を制定する。

準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例制定

河川法の改正に伴い一般的、技術的基準について条例を制定する。

税条例中改正

地方税及び、地方法人特別税等に関する法律の施行に伴い条例の一部を改正する。

地域包括支援センター設置及び管理に関する条例中改正

地域包括支援センターの所在地が、在宅介護支援センターのままになっているため条例の一部を改正する。

道路占用料徴収条例中改正

道路法施行令の一部を改正する政令が公布されたことに伴い条例の一部を改正する。

町有住宅管理条例中改正

公営住宅法の一部改正及び、準用していた町営住宅設置及び管理条例の改正に伴い条例の一部を改正する。



人事

人権擁護委員

塩島 明美氏

市川三郷町大塚



平成24年度

一般会計補正予算

(万円未満は四捨五入)

収入支出の補正額は

補正額 3,197万円

総額 85億8,236万円

収入のおもな内訳は

町税	△2,171万円
国庫支出金	1,908万円
県支出金	△871万円
繰越金	6,040万円
町債(借入金)	△1,940万円

おもな使いみち

第1回臨時会

衛生費

ドクターヘリ地域救急搬送拠点
整備事業設計委託料追加 110万円

民生費

重度心身障害者医療費助成事業追加 500万円
国民健康保険特別会計繰出金追加 6,100万円
介護保険特別会計繰出金追加 479万円
身体障害児者補装具給付費追加 300万円
つむぎの湯燃料費追加 422万円

衛生費

町立病院事業会計(老健分)
負担金追加 4,200万円

農林水産業費

農業水利施設耐震性調査委託料追加 3,500万円
県営事業負担金追加 1,975万円

商工費

温泉事業特別会計繰出金追加 915万円

土木費

町営・町有住宅維持修繕費追加 310万円
町道ストック点検委託料 1,100万円
民間木造住宅耐震建替補助金追加 160万円

教育費

町民会館耐震診断調査委託料 722万円
自治公民館・集会所等耐震診断
調査委託料 347万円

総括質疑

問 一瀬 正議員

町道等の法律改正により町民に影響はあるか。

答 加藤建設課長

影響はない。

問 一瀬 正議員

ニードスポーツセンターの経営形態はどう変わるのか。

答 一瀬いきいき健康課長

今までどおり、所管課がチェックする中で、一括して1社に委託する形にしたい。

問 一瀬 正議員

碑林公園の運営形態が変わる予算計上だが、どういう形になるのか。

答 丹沢産業振興課長

業務委託をしている会社が、契約が満了になり、継続は困難ということで、今回臨時職員を雇い、直営の方式で運営したい。

総務教育

開催日
3/8

問 成人式記念品等の更正内容は。

小林生涯学習課長 記念品の印鑑はケースを含め3、200円で、当初200名分を予定したが、175名の出席であった。

問 町税の1、996万円の減収見込みの理由は。

上野税務課長 均等割り、所得割ともに納税者が減少する。

問 ニードスポーツセンターの今後の運営方法は。

志村財政課長 新年度から、受付からトレーナーまでの業務を一括して委託をする。

問 徴収費のコンビニ収納手数料の内容は。

税務課長 町県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税の4税が全てのコンビニで取り扱える。



郡農前交差点

問 郡農前、交差点歩行者安全対策工事費の内容は。

長田政策推進室長 郡農前の民有地2カ所を購入し、舗装や車の進入防止用安全ポールの設置を行う。

問 大同地区公民館建設について、今後、大同出張所はどうなるのか。

長澤総務課長 新しい公民館に入ることになる。

厚生

開催日
3/11

問 つむぎの湯の燃料費、421万7、000円の追加だが、当初予算時の数値的根拠は。

一瀬いきいき健康課長 当初は単価を80円で見込んでいたが、その後、灯油の高騰により不足が生じた。

問 子育て支援医療費助成金について、国保会計にペナルティーが課せられているが、その規模は。

望月町民課長 窓口無料化の関係で、乳幼児医療費分73万円、ひとり親家庭医療費分100万円、重度心身障害者医療分5、445万円と、合計5、620万円となる。

問 母子衛生費の委託料の更正は。

いきいき健康課長 ポリオの接種率が70パーセントと低かった。昨年途中から、接種方法が変わり定着できなかった。



予防接種

問 峡南北部2病院統合事務組合負担金775万円が計上されているが、町の財政負担を、独自での調査は必要なのか。

町長 県でも公に出す資料である。立場上、責任があり精度の低い数字を出すことは考えられない。

問 病院会計の未収金の内訳は。

伊藤病院事務長 患者が保険以外で、支払う自己負担分が2月現在で303件・550万円である。



常任委員会

土木環境

開催日
3/14

問 不法投棄物撤去委託料更正の理由は。

丹沢産業振興課長 昨年11月に、治山林道協会が不法投棄処理をしてくれた。

問 特別鳥獣捕獲実績謝礼追加の内容は。

産業振興課長 実績でシカが当初20頭が23頭、イノシシが50頭が86頭、サルが5頭が0で、イノシシの捕獲が増えたためである。

問 プレミアム商品券は、商工会の会員以外の商店等では利用できないのか。

産業振興課長 商工会の会員と聞いている。

問 印章購入費助成制度とは。

産業振興課長 印章業の活性化を図るため、フルネームでハンコを作っていただく補助金で、上限1万円・ $\frac{1}{2}$ の補助をする。



印刻作業

問 高田の排水機場だが所管が移ったのか。

加藤建設課長 国土交通省に、お願いをしている。

問 町営富士見住宅用地確定測量業務委託料の内容は。
建設課長 公図と地番を修正するために、測量・登記を含め委託する。

問 上水道事業会計で、給水収益の計上減額の理由は。
河西生活環境課長 人口も減っているが節水の考えが浸透していることもある。

組合議会報告

中巨摩地区広域事務組合

12月定例会

12月27日

24年度補正予算3件が原案どおり可決されました。
主な内容は次のとおりです。

特別会計 ごみ処理事業

煙突騒音対策設計料

1、400万円追加

勤労青年センター事業

職員給与費

211万円追加

し尿処理事業

電気料及び屋根補修工事費

772万円追加

(報告 松野 清貴)

山梨県後期高齢者医療広域連合

第1回定例会

2月19日

条例改正2件、補正予算2件、25年度当初予算2件が原案どおり同意、可決されました。

24年度特別会計補正予算では、臨時特別交付金6億2、600万円を臨時特例基金に積み立てる増額補正が主なものです。

25年度一般会計予算では総額を4億6、515万円とし、事務費用に繰り出す負担金を、市町村から受け入れるなどの内容です。

特別会計予算では、総額935億9、400円とするもので、前年比7億3、994円の増額、被保険者数が1、900人程度増加、給付金も若干の増額が見込まれることが、おもな要因でありました。

(報告 井上 達雄)

病院統合で町独自の分析は

一瀬 正 議員



—医療環境確保が財政負担を改善する—

問 町立病院について、整形外科の4月からの診療後退させない対策を。

町長 大学病院との話し合いにより診療回数が週3回に改善され、さらにもう一回診療できるよう検討している。

問 峡南北部2病院統合協議会への県の提案への町独自の分析は。

町長 経営状況を好転させるには、良い医療環境をつくることにより、地域医療を守り、併せて財政負担の改善を図ることができると思う。

問 下地区公民館の風呂を付添人への入浴サービスとしてはいかがか。

町長 病院の患者の付添い者については、町外者でも無料でご利用できる。

問 市川大門駅から病院へ直接行けるようにしてはどうか。

町長 鉄道に関する技術上の基準の定めにより困難との回答であった。

問 生活保護基準引き下げの中で、町独自の就学助成制度を維持し、充実強化が必要と考えるが。

町長 25年度以降も改正前の基準額で算定し、認定外にならないよう現在の基準を維持していく。
丹澤教育委員長 改正により認定から外される事のないよう対応する。

問 空き家の入居者斡旋、廃屋撤去への助成制度など住宅施策についての方針は。

町長 県や他の自治体の動向を見ながら検討する。

問 市川地区の下水道未整備地域への本管布設工事計画は。

町長 毎年計画的に進めており、最短で28年度には下水道工事に着手できる。

問 平塩5号線新設工事など新設道路を活用した町による住宅開発事業は考えているのか。

町長 地権者の意向調査など事業の有効策を検討する。



平塩5号線

人事・行政評価制度の考えは

笠井雄一 議員

―信頼される行政運営を行なう―

問 21年度より人事評価制度を試行しているが、制度の特色は。

町長 『やすらぎづくり、日本一の暮らしやすさを目指して』を基本方針に定めた総合計画に基づき、まちづくりの将来像を実現するに当り、職員の人的資源、人材の果たすべき役割が大きいことから、人的資源である職員の育成が重要な目的である。

問 現在までの成果は。

町長 21から25年度を計画期間とし、試行を実施。

課の組織目標・職員の個人目標の設定及び管理、上司と部下の面談と評価をくり返し実施し、客観性・公正性を高めるために行っている。評価する者とされる者との信頼感の形成が成果として表われてきている。

問 人材の発見・養成・活用のための工夫は。

町長 職員一人ひとりの力量を高めるため、教育機会をつくり、行政として学ぶ場の創設も考えている。



問 今後の課題については。

町長 個人の評価結果を蓄積した上で、昇任・昇格時の判断材料と、人事異動時の評価資料として参考にする。

問 無理・無駄のない効率的な政策の形成と事業の実施が求められている中、行政評価制度導入についての考えは。

町長 行政評価の目的に沿った内容を主要事業5カ年実施計画策定時に準用している。継続事業は、毎年、担当者自身の評価、担当課長評価、主要課長評価を取り入れ、住民に信頼される行政運営を行うため実施している。

町民からの提言等、プラン作成から参画して頂き、各種計画を策定している。地域住民との協働が求められている中で、多くの声を反映した行政運営に努めていく。

問 内部評価が中心におこなわれているようだが、外部評価も導入しては。

町長 導入については、今後検討していく。



面談の様子

学校の非構造部材の耐震対策は!!

宮崎博巳 議員



一点検し安全性は確認された一

問 児童・生徒とともに地域住民の防災拠点となる、学校建物の耐震化は完了したが、施設内非構造部分の対策は充分か。

丹澤教育委員長 各省からの調査により、専門の業者での学校内の点検は完了。安全性は確認された。

問 点検方法は、目視・打診・触診か。

網倉総務教育課長 専門家が足場を組み、吊り天井、照明、ボルトの緩み等を細やかに点検実施した。

問 保育園、幼稚園等の点検は行うのか。

和田保育課長 本年度特殊建物を含めて、点検をする。

問 学校給食アレルギー対応の現状は、また自己注射※エピペンの配備について。

教育委員長 対象となる児童、生徒への牛乳は除去食としているが、他の食品は毎月献立表を保護者に渡し、代替食の持参をお願いしている。

エピペンは、養護教員を中心に、研修・実習を通して共通理解を図り、緊急対応に万全を期す。

問 食べられないメニューについての対応は。

塩澤教育長 児童生徒がアレルギーを起す物質があった場合の、給食代金は計算、お返しをし、代替食を家庭から持参いただいている。

問 食物アレルギーの対応及び、保護者全員への説明は行っているか。

教育総務課長 学校での説明会で、申請書、診断書を提出、給食センターでも情報の共有をしているが、保護者全員に周知徹底を行う。

問 エピペンの使用対応は。

教育長 峡南地区及び、町内の養護教員部会で練習用のエピペンを使用し、研修を行っており、町内には学校に持参している児童生徒はいないが、修学旅行等には、用意が必要と思われるので、対処出来る研修を重ねて万が一に備える。



自己注射 エピペン
※食物性アレルギーに対応する緊急医薬品

長年の要望、駅東側の開発を！

内藤 優 議員

―当面は景観美化に努めていく―



※中山間地域総合整備事業とは
地域の立地条件に沿った農業の展開方向を探り、農業生産・農村生活環境基盤などの整備を総合的に行う。

問 甲斐岩間駅東側の開発には大きな課題があるが、要望実現のため大変有利な国庫補助事業である、※中山間地域総合整備新規事業を活用しての取り組みを。

町長 環境改善を図り、当面は景観維持に努めていく。また、地区の希望を調査しながら、事業化または農地としての活用か、を含めさらに検討していく。

問 地権者は、農地以外の利用方法など意見集約がされているのか。

町長 圃場整備をしても高齢で農業はできない。他の土地利用計画を考えて欲しいという意見もある。

問 景観維持の、その先についての考えは。

丹沢産業振興課長 農業用の事業を入れると、その後、開発ができなくなる面もある。



甲斐岩間駅東側

問 この中山間事業が駅東側の開発に起用できるか、態度を示していく必要があると思うが、農地以外の具

あり圃場整備は難しい。遊水地をつくって遊水機能を持たすのも一つの考えだと思う。

町長 地権者の意見が分かるなか、どう調整して地域の有効活用ができるか、出来るだけ早く結論を出していきたい。

問 今回の中山間事業を契機に、開発のめどを立てていただきたいが、意気込みは。

問 中山間整備事業を推進する立場から、あの地域に圃場整備、遊水地をつくる取り組みはできないのか。

町長 県の新規事業を、地権者の9割近い方が賛同してくれないと難しい、時間もないので間に合うのか、検討し取り組んでいく。

産業振興課長 地権者アンケートでも「町で買っていたきたい」という意見も

議会のしくみ

議会は、町民の代表による話し合いの場です。そこでは、町民生活に関わるさまざまな案件について話し合いがおこなわれます。

話し合いは主に次のような会議でおこなわれます。

定例会・臨時会

議会の定例会は年4回（3月、6月、9月、12月）、町長が招集して開かれます。この他、特に必要がある場合には、臨時会が開かれます。

定例会又は臨時会では、提出された議案などについて、本会議や委員会で審議します。

本会議・委員会

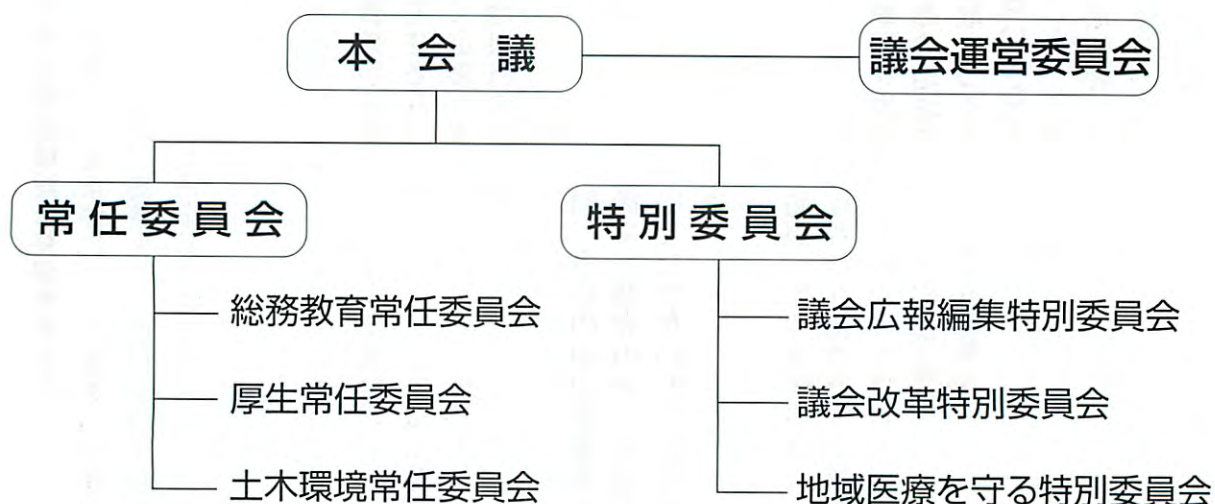
本 会 議：全議員で構成する会議のことで、提出されたすべての議案などに対する会議の最終的な意思を決定します。

委 員 会：常任委員会、特別委員会、議会運営委員会があります。

常 任 委 員 会：本会議に提出された議案などを、さらに詳しく専門的審査・調査するもので、町の仕事を部門別に分けて、3つの常任委員会が置かれています。議員は、必ずいずれかの常任委員会に所属しています。

特 別 委 員 会：特定の事項を審査・調査するため、必要に応じて本会議の議決によって設置されます。

議会運営委員会：議会の円滑な運営を図るため、議会の進め方などを話し合います。



議案などが採決されるまで

本 会 議

開会 議長の宣告によって、会議が始まります。本会議を開くには、議員定数（18人）の半数（9人）以上の議員の出席が必要です。

議案提出 議案には、町長から提出されるものと、議員が提出するものがあります。

提案理由説明 議案は、提出者からその内容について説明を受けます。町長の提案理由の説明は、通常、開会日に行われます。

質疑・質問 議員は提出された議案について、疑問や不明確な点をただすために「質疑」を行います。

また、町政一般について、執行機関がどう取り組んでいるのか、今後どのように対応するのかについてもたずねます。これを「質問」といいます。

本会議では、質疑・質問が行われますが、議員個人の立場で行うのを「一般質問」といいます。質疑・質問に対し、町長及び関係課長等が答弁を行います。

委員会付託 質疑・質問が終わると、議案などをさらに詳しく調べるため、各常任委員会に送ります。

常任委員会

付託議案審査 送られてきた議案や請願などについて、いろいろな角度から議論し、委員会として、賛成か反対かの態度を決めます。

本 会 議

委員長報告 すべての委員会が終わると、再び本会議を開き、委員会で決まった審査結果を報告します。

討論 議員が議案に賛成か反対かの意見を述べる機会が、採決前に設けられます。

採決 議案などの審議が十分に行われた後、議長が出席議員に対し、賛成か反対かを問い、原則として出席議員の過半数の同意で、可否を決めます。

閉会 議案などのすべての採決が終われば、閉会となります。

合同現地調査

3月7日、総務教育・厚生・土木環境の3常任委員会が合同で、
本年度主要事業の事前現地調査を行いました。

高田排水機場
鳴沢川内水対策



大塚小学校
グラウンドの整備・
スプリンクラーの設置



大同公民館
建設予定地



ドクターヘリ緊急
搬送拠点整備
取り付け道路等
(下九一色中跡地)

議会傍聴に お出かけください

次回定例会は6月に
予定されています。

傍聴の定員

本会議 30人 委員会 各8人

◆3月定例会の傍聴実績(のべ人数)

本会議 20人 委員会 6人

臨時会 1人

◆会議録検索システム利用件数

1月から3月まで 1,162件

◆お問い合わせ

議会事務局 TEL055-272-1108

山保定住促進住宅
2棟建設予定



討論

■一般会計予算

(反対) 一瀬 正 議員

町長、議会も医師不足を理由に2病院の統合を進めてきた。財政が乏しい2町が2病院を運営し、立地条件が悪い鰍沢病院を中核病院にする。医療面でのサービスの低下、財政面での負担増を考えると2病院統合および、統合負担金の予算に反対する。

(賛成) 笠井 雄一 議員

医師不足が深刻化している。病院の役割や配置状況など地域の実情を十分に踏まえ、医療機関の連携が必要である。一体経営をすることにより、医師の確保と地域医療は充実すると思われる。

(賛成) 内藤 優 議員

医療問題は、切実な緊急性をもった問題である。協定書を信じ、協議会の成り行きを注視したい。多くの皆様の意見を無視したつもりもないし、一生懸命病院問題を考えてきた。

(賛成) 村松 武人 議員

特別委員会で18回にわたり、慎重審議してきた。町立病院の建て替えや医師確保にめどが付き、2病院の統合で方向性は決まっている。

(賛成15 反対1)

■介護保険特別会計予算

(反対) 一瀬 正 議員

介護サービスを受けようとしても施設不足でサービスが受けられない。国民の命と暮らしを守るといふ政治の根本が忘れられている。

(賛成) 笠井 雄一 議員

高齢化率31.5%、独居世帯や65歳以上の夫婦世帯の増加など、超高齢化社会の中必要な制度として充実していくことが望まれる。今後の事業運営と予防活動に期待する。

(賛成15 反対1)

■後期高齢者医療特別会計予算

(反対) 一瀬 正 議員

年齢による医療サービスを差別する制度は廃止し、安心して医療をうけられるようにすべきである。年金が引き下げられる中での保険料の負担は大変である。

(賛成) 笠井 雄一 議員

高齢者医療の安定的な確保を図るため、制度の円滑な導入と理解を得るため軽減延長などの見直しを行っている。剰余金や財政安定化基金を

請願

◎不採択 (賛成1 反対15)

鰍沢病院と統合せず市川三郷町立病院を、今のまま残すよう再考を求める請願

請願人

市川三郷町市川大門

3495-3-302

望月 明氏(他16名)

紹介議員

一瀬 正

審議結果

◎第1回臨時会 (1月25日)	結果
・平成24年度一般会計補正予算(第8号)	可決 全会一致
◎第1回(3月)定例会 (3月6日~18日)	
・平成24年度一般会計補正予算(第9号)	
専決処分につき承認を求める	承認 全会一致
・新型インフルエンザ等対策本部条例制定	可決 全会一致
・国有林野の有する公益的機能の維持増進を図るための国有林野の管理経営に関する法律等の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定	可決 全会一致
・町道の構造の技術的基準を定める条例制定	可決 全会一致
・町道に設ける道路標識の寸法を定める条例制定	可決 全会一致
・移動等円滑化のために必要な町道の構造に関する基準を定める条例制定	可決 全会一致
・準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例制定	可決 全会一致
・税条例中改正	可決 全会一致
・地域包括支援センター設置及び管理に関する条例中改正	可決 全会一致
・道路占用料徴収条例中改正	可決 全会一致
・町有住宅管理条例中改正	可決 全会一致
・富士川町公共下水道管渠の住民の利用について	可決 全会一致
・平成24年度一般会計補正予算(第10号)	可決 全会一致
・国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決 全会一致
・介護保険特別会計補正予算(第4号)	可決 全会一致
・介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	可決 全会一致
・訪問看護ステーション西八代特別会計補正予算(第2号)	可決 全会一致
・簡易水道特別会計補正予算(第4号)	可決 全会一致
・公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	可決 全会一致
・温泉事業特別会計補正予算(第2号)	可決 全会一致
・歌舞伎文化公園管理特別会計補正予算(第1号)	可決 全会一致
・後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決 賛成多数
・病院事業会計補正予算(第2号)	可決 全会一致
・平成25年度一般会計予算	可決 賛成多数
・国民健康保険特別会計予算	可決 全会一致
・介護保険特別会計予算	可決 賛成多数
・介護サービス事業特別会計予算	可決 全会一致
・訪問看護ステーション西八代特別会計予算	可決 全会一致
・簡易水道特別会計予算	可決 全会一致
・公共下水道事業特別会計予算	可決 全会一致
・農業集落排水事業特別会計予算	可決 全会一致
・戸別浄化槽整備推進事業特別会計予算	可決 全会一致
・温泉事業特別会計予算	可決 全会一致
・恩賜県有財産保護管理事業特別会計予算	可決 全会一致
・市川・高田・大同財産区特別会計予算	可決 全会一致
・歌舞伎文化公園管理特別会計予算	可決 全会一致
・後期高齢者医療特別会計予算	可決 賛成多数
・上水道事業会計予算	可決 全会一致
・病院事業会計予算	可決 全会一致
・峡南北部2病院統合事務組合の設置について	可決 賛成多数
・平成24年度一般会計補正予算(第11号)	可決 全会一致
・西日向山恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙	決定 全会一致
・日向山恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙	決定 全会一致
・人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める	適任 全会一致
・鰍沢病院と統合せずに町立病院を今のまま残すよう再考を求める請願の採択	不採択 賛成少数

原稿を募集します。

みなさまのご意見をお寄せください。

400字詰め原稿用紙1枚以内、氏名(区名)・顔写真の掲載など詳細は、お問い合わせ下さい。

お問い合わせ：議会事務局 TEL055-272-1108

みんなのページ



市川南保育所の子どもたち！

春は保育所も年度の変わり目になります。ここには、平成24年度のお友だちがいます。

さて、新年度も子どもパワーの煌めきで地域の皆様に笑顔の贈り物がお届けできたら幸いです。



編集後記

昨年の秋、身延町の法事に参列、法要の合間に教本を見てゆくと、高僧のおことばが目に入った。親は十人の子をば養えども、子は一人の母を養うことなし。あたかな夫をば懷きて臥せども、こごえたる母の足を暖むる女房はなし。父母は常に子を念えども、子は父母を念わず。

現世のすべてを対象にしていないが、人間の煩惱からなのか何百年の歴史を費やしても改められず、昨今では親が子を、子が親を危める事態が多発している。

内外に多くの諸問題に憂慮するが、国民、町民が心をつにし、科学技術をチェックしながら、国文祭と言う手作り社会の創成、成功させることも、意義のあることと思う。

(記 川崎)

議会広報編集特別委員会
委員長 笠井 雄一
副委員長 市川 朝嗣
委員 川崎 充朗
宮崎 博巳
有泉 希
遠藤 浩